



平成21年5月8日

各 位

会 社 名 株式会社ビーアイジーグループ
本社所在地 東京都港区南青山三丁目3番3号
代 表 者 代表取締役社長 青 山 洋 一
(コード番号) (9439)
問い合わせ先 取 締 役 井 谷 浩 二
(TEL) (03-5411-7222)

継続企業の前提に関する事項の注記についてのお知らせ

当社は、本日開催の取締役会におきまして、当社の平成21年6月期第3四半期連結累計期間(平成20年7月1日～平成21年3月31日)の決算短信及び四半期報告書における継続企業の前提に関する事項について、下記の通り注記することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

当社グループは、平成18年6月期から前連結会計年度まで継続して営業損失を計上しており、当第3四半期連結累計期間においても個人消費の減退に伴い100,166千円の営業損失を計上することとなりました。当該状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しております。

しかしながら、当社グループは当該状況をいち早く解消し、収益体質の健全化及び資金繰りの安定化を実現するため、以下の改善策を実行してまいります。

1. 収益基盤の確立

(1) 美容室運営事業

既存直営店舗並びにFC店舗におきまして、新規顧客の獲得及びリピート率の向上を図る上で、新商品の開発・既存商品及びサービス品質の向上、人材育成、効率的な広告宣伝による顧客への訴求に努めてまいります。また、新たな施策として、商品の訴求にも注力し、ヘアケア製品の販路拡大や企画宣伝力の強化など、別アプローチからのブランド認知度の向上を図るとともに、引き続きFC店舗の新規出店など、収益基盤の強化に努めてまいります。

(2) ITアパレル事業

平成21年3月7日に開催された東京ガールズコレクションに出展したことで、ブランドの認知度は、より高まっております。これによる効果を活かして、卸売先の新規開拓の継続、低コストで反響の高い雑誌掲載等、費用対効果の徹底的な分析、マーケティングリサーチに基づく新商品の開発とともに収益基盤の拡大に努めてまいります。

2. コスト削減

本社コスト及び上記2事業につきましては、定期的に売上原価、人件費及び物流費等の販売費及び一般管理費を見直すことにより、営業費用の抑制を図ってまいります。

3. 連結キャッシュ・フローの改善

(1) 連結納税制度の適用

収益体質の大規模な改善を図るため、平成 21 年 5 月 7 日に代表取締役社長青山洋一から 200,000 千円の融資を一時的に受けました。これにより、連結子会社である株式会社エム・エイチ・グループの株式を、少数株主から取得し 100%子会社化することで、株式会社エム・エイチ・グループから当社への配当金が当社グループ内に留保されることとなります。次期連結会計年度より連結納税制度を適用することにより、当社グループ外への資金流出が軽減される予定です。

(2) キャッシュポジション重視の風土を構築

個人消費の減退につきましては、一層厳しさを増すと予想されます。こうした経営環境に対応するため、キャッシュポジションを重視するよう、経営陣が執行に近い立場で先陣をきり、全従業員が一丸となって乗り越える意識を高めてまいります。

このような取組みを確実に実行していくことで、継続企業の前提に関する疑義は解消されるものと判断しております。

四半期連結財務諸表は、継続企業を前提として作成されており、重要な疑義の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

以上